

2022年11月から2027年3月までに当院で

低侵襲アプローチによる人工股関節全置換術を施行した患者様へ

## 「人工股関節全置換術の術後成績と認知機能の

### 関連についての検討」

臨床研究へのご協力をお願い

#### 1. はじめに

一般的に、認知機能が低下した患者さんでは術後の安静を守れなかったり、リハビリテーションの進みが悪かったりする傾向にあります。近年の高齢化に伴い人工股関節手術を施行される方の平均年齢も年々上昇しています。それにともない認知機能低下を伴う患者さんが人工股関節手術を希望されることも増えてきています。

しかし認知機能低下がある患者さんにおいて、手術により機能改善やADL改善が期待できるのかどうか、また術後脱臼を含めた周術期合併症のリスクが高くなるのかどうかについて、まだ十分には明らかになっていません。

本研究の目的は、認知機能が術後の成績に関連するかどうかを調べることです。適切な手術適応の判断や、個々の状態に応じた周術期管理やリハビリテーションにつなげることで、安全で効果的な治療を、より多くの患者さんに提供することを目指します。

#### 2. 研究の対象者

2022年11月1日から2027年3月31日までに当院で行われた変形性股関節症、大腿骨頭壊死、関節リウマチに対して人工股関節全置換術（Direct Anterior Approach）が行われた方

### 3. 研究の目的

当院で低侵襲アプローチによる人工股関節全置換術を受けた患者において、術後成績と認知機能の関連についての検討することです。

### 4. 研究期間

研究倫理審査委員会承認後 ～ 2028年3月31日

### 5. 研究の方法

この研究では、みなさまのカルテ等に記載されている情報（手術時年齢、性別、原疾患、身長体重などの患者情報）、周術期の認知機能検査結果、手術記録、リハビリテーション記録、術前後の股関節機能評価結果（JOA スコア）、入院中の合併症の有無（脱臼、術後創部感染など）を電子カルテから抽出させていただきます。

データは匿名化して解析しますので、個人情報には確実に保護いたします。この研究は手術を行う際に施行する通常検査のデータを活用するもので、追加検査をお願いすることはありません。

解析結果は、学会や論文等で発表する予定です。発表する際には、データは個人情報とは完全に分離した形で扱い、個人情報は含まれず患者様やご家族の個人が特定されることもありません。また他の研究への利用もありません。この研究のために使われる患者様・ご家族の情報は全て、本研究の最終の公表をされた日から5年経過後、適切に廃棄いたします。

### 6. 研究組織

研究責任者	東京都健康長寿医療センター	整形外科	部長	宮崎 剛
研究分担者	東京都健康長寿医療センター	リハビリテーション科		正田 奈緒子
	東京都健康長寿医療センター	整形外科		金子 泰三
	東京都健康長寿医療センター	リハビリテーション科		近藤 和泉
	東京都健康長寿医療センター	精神科		扇澤 史子
	東京都健康長寿医療センター	臨床心理科		河地 由恵

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない  
範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さ  
い。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さ  
まの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記  
の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることは  
ありません。

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

所在地 〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

電話番号 03-3964-1141（代表） 受付日時：平日 9 時～17 時

研究担当者：リハビリテーション科

正田 奈緒子